

第42回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

- 【場 所】 市長応接室
- 【日 時】 平成26年2月19日（水）10：00～
- 【出席者】 市長、副市長、教育長、総務部長、企画財政部長、市民生活部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、環境経済部参与、都市部長、教育委員会総務部長、秘書広報課長、健康づくり支援課長、保育課長（代理）、クリーンセンター長、手賀沼課長、農政課長、道路課長、下水道課長（代理）、公園緑地課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について

（各課）

- ・特に無し。

（2）国・県による手賀沼及び流入河川の放射性物質モニタリング調査結果について

（手賀沼課）

- ・環境省による9回目及び千葉県による6回目の手賀沼及び流入河川の放射性物質モニタリング調査結果が公表された。全体として大きな変化は見られないが、根戸下測定点の数値が上がっている、台風の影響も考えられるが詳しい原因については千葉県に確認をとっている。

（決定事項）

（3）我孫子市第2次放射能対策総合計画について（放射能対策室）

- ・我孫子市第2次放射能対策総合計画（案）について1月16日から1月30日までパブリックコメントを行い、10名から総数32件の意見が寄せられた。
 - ・意見を受けて計画に反映したものは次のとおりである。
- ◇24 ページの放射能の専門医2名の見解については、誤解を招かないよう原文どおりとし、「検出された数値は人体に影響を与えるとは考えにくい数値です」に修正した。
- ◇27 ページの<<今後の方針>>について一部追記・修正をし、「○小・中学校の甲状腺の視診・触診や内部被ばく線量測定費用に一部助成などを継続し、引き続き放射性物質による健康影響の実態把握に努めます。また、国の動向や福島県で実施されている県民健康管理調査等の結果を注視していきます。」「○内部被ばくに関する正しい情報の提供や市民からの相談に応じることで、健康被害に対する市民の不安の軽減を図ります。」とした。
- ・実績データなどは1月末時点での数値とし我孫子市第2次放射能対策総合計画は（案）のとおり決定された。